


市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。詳細は市HPをご覧ください。

☎広報課 983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索 

【凡例】 ①とき・②場所・③内容・④講師・⑤費用（記載なしは無料）・⑥対象・⑦定員・⑧持ち物・⑨注意事項・⑩申込み（記載なしは不要）・⑪問合せ

文化

酔陶会作陶展

⑩9月22日(金)～24日(日)午前9時30分～午後5時（22日は午前11時から、24日は午後4時まで）⑤生涯学習センター3階・市民ギャラリー⑥陶芸を学ぶ仲間の作品展示⑦山本☎976・6664

中部 Stamp Show 2023 in 三島

⑩9月29日(金)午前10時30分～午後5時、30日(土)午前9時30分～11時⑤三島商工会議所4階・会議室B、C、D⑥テーマに沿った切手類の展示など郵便に関する多種多様な切手・ハガキ類が50作品展示されます⑦日本郵趣協会 中部地方本部・長島☎090・2344・5364

三嶋曆手三島茶碗の会

三島ゆかりの三島茶碗を作ってみよう

⑩10月22日(日)午後1時～5時⑤杉浦陶器店(大社町1・30)⑥いろいろな印華を組み合わせたフリーカップを作りませんか。※作品は後日、杉浦陶器店にて受渡し⑦2,300円⑧小学5年生以上⑨先着5人⑩きれいな雑巾1枚⑪9月9日(土)より事務局・杉浦☎975・0219

三島ジュニアアンサンブル会員募集

⑩月3回(各土曜日)午後6時から⑤白道こども園(加屋町2・21)⑥芸術祭や音楽フェスティバルでの発表に向けて、合奏練習しています。バイオリン初心者から丁寧に指導してくれます。⑦月6,000円⑧小学生～高校生⑨⑩小楠☎090・9892・8507

スポーツ・健康

太極拳 無料体験教室

⑩9月14日、21日、28日(各木曜日)午後1時30分～3時⑤市民体育館・剣道場⑥スポーツ・芸術の秋に動く芸術とも言われる太極拳を始めませんか。⑦動きやすい服装、上履き、飲み物、タオル⑧⑨各開催日の前日までに三島木曜日太極拳教室・桐山☎090・1834・5835

その他

司法書士による遺言・相続 無料相談会

⑩9月30日(土)午後1時～4時⑤三島商工会議所3階・会議室⑥相続登記、遺言書作成に関する相談（1組30分程度）⑦静岡岡県司法書士会事務局☎054・289・3700(土日・祝日を除く)▶当日はこちら：担当・遠藤☎941・7711(午後1時～4時)

11月1日号への掲載の申込みは、9月22日(金)までに電子申請
(電子申請がご利用いただけない場合は、申込用紙を広報課 FAX 983・2719)

電子申請 (<https://logofom.jp/form/pqff/143867>) はこちら▶



「三島市公式 YouTube チャンネル」動画紹介！

問合せ 広報課☎983・2620

【三島の“昔”を知る】



広報みしまで振り返る「三島」

昭和25年9月に「三島市弘報」として第1号を発刊した広報紙。三島の歴史を広報紙とともに振り返ります。



vol.1



vol.2

【三島の“今”を知る】



三島に来た目的、印象を教えてください！

市外の人からは私たちの街「三島」はどのように見えているのでしょうか？三島を訪れた観光客の皆さんにインタビューしました！



【三島の“水道”を知る】



三島の水道水は きれい・気持ちよい・そして・・・

毎日使用している水道のお水。「三島のお水はどこから来るの？」そんな疑問にお答えします！



【三島の“ごみ”を知る】



回収された衣類はどうなるの？

公民館などで回収された衣類は、どこへ行き、どのようになるのでしょうか？その行方を追います！



歴史の小箱

No.423

鳥羽・伏見の戦いと

小松宮彰仁親王

彰仁親王についてさらに詳しく：歴史の小箱 404号(令和4年2月1日号)

郷土資料館(楽寿園内) ☎971・8228



小松宮彰仁親王は、幕末・維新の動乱期を生きた皇族です。三島では楽寿園の前身となる別邸を築いたことで知られ、今年没後二一〇年目にあたります。

彰仁親王は、伏見宮邦家親王の第八子として弘化三年(一八四六)に生まれました。数え年三才の時に仁和寺を相続することが決まり、十三才で戒を受けて僧となります。仁和寺は、平安時代以来、皇族が門跡(住職)となることで継承されてきた京都有数の寺院であり、前の門跡の薨去(死去)を受け、幼くしてその後継者に選ばれたのです。

さて、親王が門跡に必要とされる知識・作法を身につけるため、仏道修行にはげんでいた頃、寺外の情勢は混乱を極めていました。仏道を学びはじめた間もない八歳の時に黒船が来航し、僧侶となった十三才の時に安政の大獄がはじまります。十五才

の時に桜田門外の変がおこり、尊攘派の過激分子による「天誅」が相つぐようになりました。朝廷・幕府の間では調整がくり返され、政局の中心が江戸から京都へ移っていきます。

慶応三年(一八六七)十月、二十二才の時に、幕府が朝廷に政権を返上しました(大政奉還)。これは新政権内に行きかぎり徳川家の勢力を残そうとしたものだったため、討幕計画の挫折を危ぶんだ討幕派により、十二月九日、幕府の廃止と新政府の樹立が強行されました。いわゆる王政復古のクーデターです。この日、親王は有栖川宮熾仁親王らとともに新帝(明治天皇)の御前に召され、俗人に戻るよう命を受けました。皇族の一人として十六才の若き天皇を支えることが求められたのです。

新たに成立した政府と旧幕府の間の緊張関係は、いよいよ予断を許さない状況となりました。そうした中、同月二十五日、旧幕府軍により江戸の薩摩藩邸が焼き打ちされ、ついに両者が全面衝突することとなります。年明け正月三日、戊辰戦争の

緒戦となった鳥羽・伏見の戦いの勃発です。

三日時点では、薩摩・長州等の軍と旧幕府軍による「私戦」と見なされかねない状況でした。しかし翌四日、その情勢が一変します。親王が征討大將軍に任じられ、錦の御旗と節刀を授けられたのです。錦旗は朝廷の敵を征伐する官軍へ授けられた旗、節刀は天皇の命を奉じて官軍を率いる將軍へ下賜された刀であり、正統性の在り処を目に見える形で示すものです。

五日早朝、親王は錦旗を翻して戦場に出馬しました。これにより、新政府軍を「官軍」とし、旧幕府軍を「賊軍」とする構図が世に知らしめられました。寺を出てからひと月も経たずに官軍の大將として出陣した親王は、歴史の転換点において重要な役割を担うこととなったのです。



▲彰仁親王が若き日を過ごした仁和寺(画像提供:総本山仁和寺)

わたしのひいおばあちゃん

当番 やました さらさん

私のひいおばあちゃんは、いい所がたくさんあります。

一つ目は料理が得意な所です。以前作ってくれたまぜごはんは、とてもおいしかったです。

二つ目はやさしい所です。どんな時でも笑顔で接してくれて、私のことをスマートフォンでかっこいいと言ってくれます。

三つ目は家族のことをいつも気にかけてくれる所です。

そんなひいおばあちゃんにいつまでも元気で長生きしてほしいです。



山下 希子 (92才)
山下紗羅(坂小6年)